

# 一般社団法人日本カウンセリング学会東京支部会研修会のご案内

一般社団法人日本カウンセリング学会東京支部会研修会を下記のとおり開催いたします。 たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

日本カウンセリング学会東京支部会支部長 井ノ山正文

1. 開催日時 2026年 2月 8日（日）13:00～15:30（受付開始 12:45）

2. 研修会テーマ 「カウンセラーとして出来ること 今、求められているのは」

3. 研修概要

文部科学省の最新統計（2024年度調査、2025年10月発表）によると、小・中学校の不登校児童生徒数は過去最多の353,970人となり、12年連続の増加です。割合では小学校が約2.22%、中学校が約6.8%で、特に中学校では約17人に1人の割合に相当し、学年が上がるほど増加傾向にあります。また、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課による「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」（2022年12月発表）では、小学校・中学校において「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒は推定値8.8%（8.4%～9.3%）、「学習面で著しい困難を示す」児童生徒は推定値6.5%（6.1%～6.9%）、「行動面で著しい困難を示す」児童生徒は推定値4.7%（4.4%～5.0%）、「学習面と行動面ともに著しい困難を示す」児童生徒は2.3%（2.1%～2.6%）と報告されています。

子ども達の困難さをどのように理解し、受け止めることが求められているのでしょうか。これらの背景には教育的課題、社会的課題、経済的課題なども関連していることが思慮されます。また、コロナ禍のなかで失われた対人関係などの影響も見逃せません。そして、WHOの国際生活分類によって示された健康の概念では「個人要因」のみではなく「環境要因」にも着目することが求められています。子ども達の課題を個人要因のみに求めるのではなく、環境要因にも着目する視点が必要だと考えます。エンゲル(George Engel)が1977年に提唱した生物・心理・社会モデル(Bio-Psycho-Social Model, BPSモデル)では、生物学的要因(遺伝、生理機能)、心理的要因(感情、認知)、社会的要因(家族、文化、環境)の3つの側面から総合的に捉え、相互作用として理解する考え方が提唱されています。この視点を基にするとアセスメントの在り方が変わっていきます。そして、子ども達への支援方法も一次支援に力点を置くことが求められます。

今回の研修会では、三人の若手中堅のカウンセラーの方々に日々の仕事から見えてくる課題を示していただきながら、カウンセリングの在り方や今後について考える機会となることを目的として開催しました。

4. シンポジスト及び指定討論者

石澤 方理氏（逗子市教育研究相談センター）

これまで学校における特別な支援を軸に、通級指導教室や特別支援学級を利用するケースの実践を重

ねてきました。支援において、子どもの行動観察と繰り返しのアセスメントを重視し、本人の変容に合わせた柔軟な目標設定を大切にしています。また、孤立しがちな保護者が繋がる機会を創出し、学校と家庭の連携を深める活動にも注力しています。本日は皆様と、多角的な支援の在り方を深めたいと思います。

#### 大下 いずみ氏（海老名市教育支援センター）

生物・心理・社会モデルのうち、特に社会的要因（家族、文化や土地柄・風土、環境）が心理的要因（寛容・認知）に与える影響について考えていく。当職の勤務する学校の情報（規模、校風、子どもの様子、教員の様子、地域の風土、SCに求められること、SCの業務状況など）を守秘義務に障らない範囲で話し、それが子ども・保護者・家庭の課題とどの様につながるのか、それに対してSCとしてどの様な関りを試みているか話題提供する予定です。

#### 福田 康人氏（二子玉川心のクリニック 心理士 東京都スクールカウンセラー）

##### <小学校でのカウンセリングの在り方>

- ・『動く』ことの重要性、臨機応変さ、突発的なことへの柔軟性、
- ・『枠付けの緩さ』の意味（ex.いつどこでもカウンセリングの空間になり得る環境であることなど）
- ・問題への役割分け・情報共有の重要性、
- ・学校と言う閉鎖的にならざるを得ない社会での、心理職と教員との関係性の作り方
- ・教員の疲弊している現実（ex.立場関係なく過酷な環境であること）

##### <クリニックでのカウンセリングの在り方>

- ・学校でのカウンセリングとの違い
- ・守秘義務と利害関係の無さの重要性=枠付が明確であること
- ・小学校での不登校が社会に出てから及ぼす影響の大きさ

#### 指定討論者 宮崎 圭子氏（跡見学園女子大学心理学部 臨床心理学科）

現在、もっとも関心を持っている領域が 1. ポジティブ・サイコロジー、2. 遠隔カウンセリング（産業分野）、3. サイコエデュケーションの 3つである。1. ではコヒアレンス、レジリエンス、ハーディネス、感謝行動、愛他行動を追いかけた。2. では来室カウンセリングとの比較研究および効果的な遠隔カウンセリングの技法を明らかにすること、3. ではプログラムの開発とその効果研究にチャレンジしている。

### 5. 開催方法

本研修は Web（Zoom ミーティング）によるリアルタイム配信により行ないます。

※ 研修会終了後の録画配信は行いません。定員 100 名（先着順）

※ 先着順ですが、東京支部会会員を優先します。

### 6. 参加費

1000円

※参加希望の方は以下のゆうちょ銀行口座への振り込みをお願いいたします。振り込み確認後に参加

のための Zoom URL を送らせていただきます。(振込用紙にメールアドレスもご記入ください)  
※口座番号 00180-7-338443 加入者名 日本カウンセリング学会東京支部  
※銀行口座からの振り込みは以下です

他金融機関からの振込口座番号  
○一九（ゼロイチキュウ）店（019）  
当座 0338443  
口座名 日本カウンセリング学会東京支部

## 7. 申し込み

参加ご希望の方は、以下の手順で事前に申し込みをお願いいたします。

① 次の必要事項を日本カウンセリング学会東京支部会にメールでお送りください。

(1) 「日本カウンセリング学会東京支部会研修会申込」と明記してください。

(2) お名前

(3) ご所属

(4) 「学会員」「カウンセリング心理士会会員」のいずれか。

※上記以外の一般の方は、日本カウンセリング学会東京支部会まで事前にお問い合わせください。

(5) 東京支部会会員の有無

(6) 連絡先（メールアドレス、住所、電話番号）

②申し込み締め切り日

2026年2月4日（水）17時

③受講された方には研究活動証明書を発行します。（メール添付で送付いたします）

## 8. 申込先

①(参加申し込み) メール：[jacstokyobranch@gmail.com](mailto:jacstokyobranch@gmail.com) (日本カウンセリング学会東京支部会)

## 9. Web 参加についての留意事項

① 本研修は Web (Zoom ミーティング) により開催いたしますので、事前にご自身で Zoom にアクセスできるようご準備をお願いいたします。なお、Zoom 操作に関するお問い合わせには対応しかねますので、どうぞご了承ください。

② 参加登録が終了した段階で研修会の URL を送信します。このお知らせは研修会実施直前になります。

③ 本研修会の参加にあたっては、以下の事項を遵守してください。

- (1) 本研修を受講できるのは参加申し込みをした本人に限ります。
- (2) 本研修会の URL を参加申し込みした本人以外に知らせないでください。
- (3) 本研修会の録画、録音等をしないでください。
- (4) 研修内容を SNS やブログ等に公開しないでください。
- (5) 日本カウンセリング学会倫理綱領に抵触する行為はしないでください。